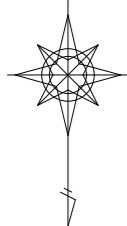


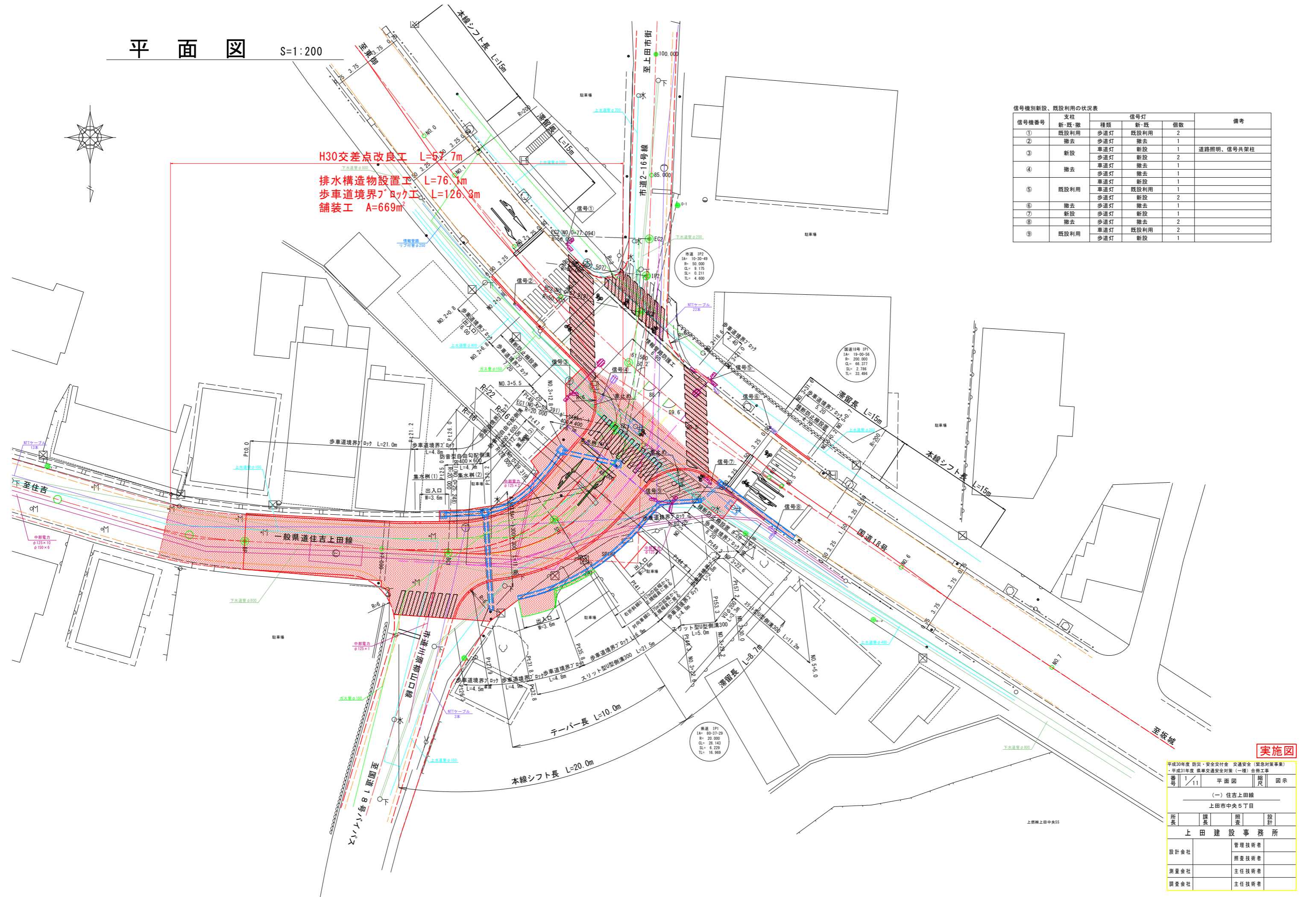
平面図 S=1:200



H30交差点改良工 L=57.7m
 排水構造物設置工 L=76.4m
 歩車道境界のロック工 L=126.3m
 舗装工 A=669m²

信号機別新設、既設利用の状況表

信号機番号	支柱 新・既・撤	信号灯		個数	備考
		種類	新・既		
①	既設利用	歩道灯	既設利用	2	
②	撤去	歩道灯	撤去	1	
③	新設	車道灯	新設	1	道路照明、信号共架柱
④	撤去	車道灯	撤去	1	
		歩道灯	撤去	1	
		車道灯	新設	1	
⑤	既設利用	車道灯	既設利用	1	
		歩道灯	新設	2	
⑥	撤去	歩道灯	撤去	1	
⑦	新設	歩道灯	新設	1	
⑧	撤去	歩道灯	撤去	2	
⑨	既設利用	車道灯	既設利用	2	
		歩道灯	新設	1	

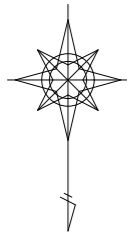


実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全（緊急対策事業）			
平成31年度 県単交通安全対策（一種）命命工事			
番号	1/11	平面図	縮尺 図示
(一) 住吉上田線			
上田中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

交差点詳細図 S=1:200

(路線バス軌跡検討図)



※R=6 : 大型車混入率が低い、設計速度の低い一般道路の隅角半径
(設計基準(1) P.2-2-58参照)

※R=20 : 一時停止制御交差点の従道路
設計速度30km(交差点部で10km低減)の場合のR=15以上
(構造令 P.459参照)

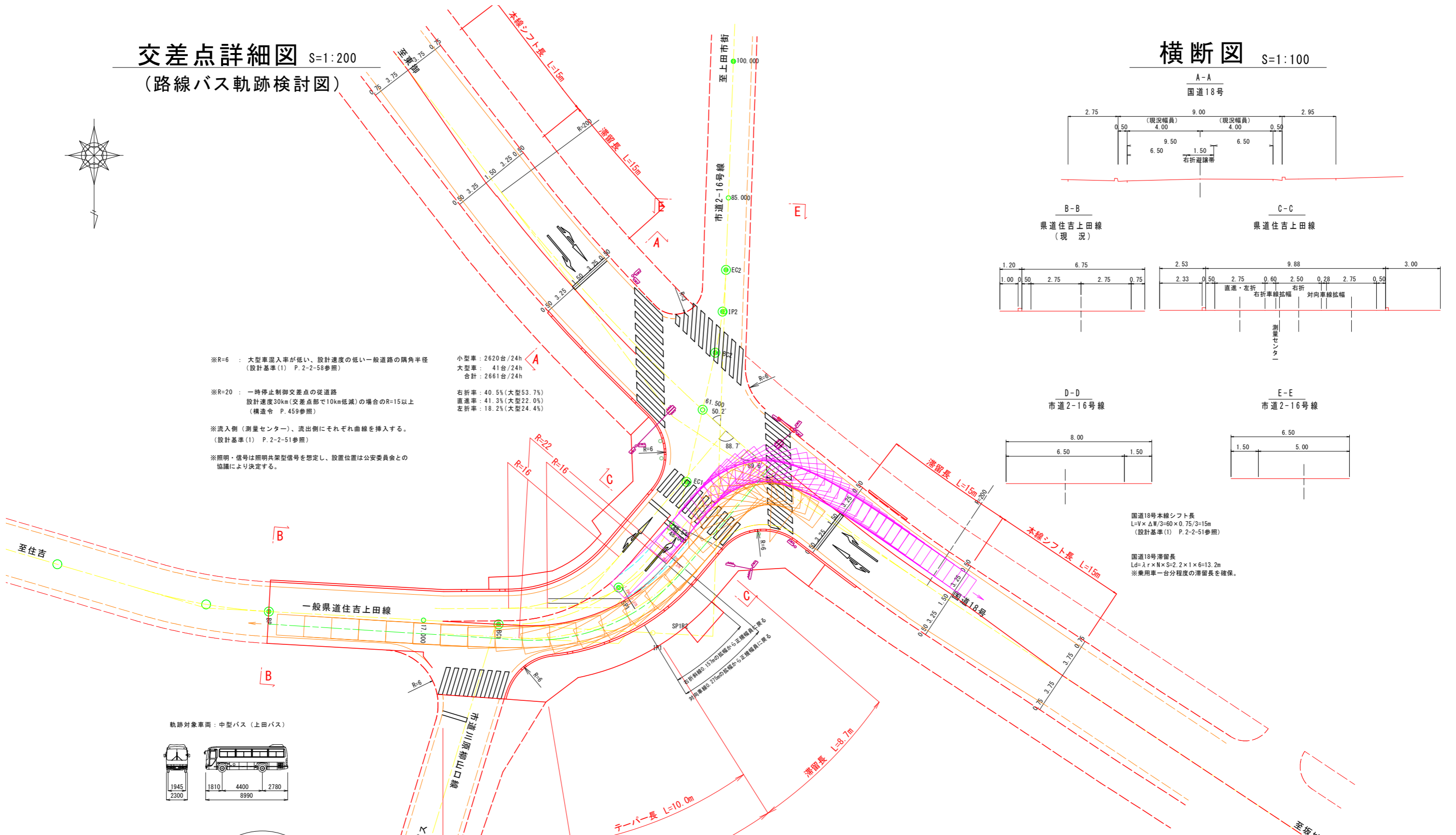
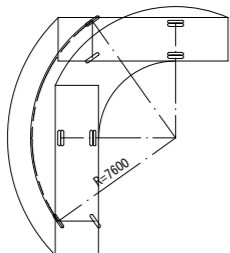
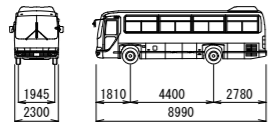
※流入側(測量センター)、流出側にそれぞれ曲線を挿入する。
(設計基準(1) P.2-2-51参照)

※照明・信号は照明共架型信号を想定し、設置位置は公安委員会との
協議により決定する。

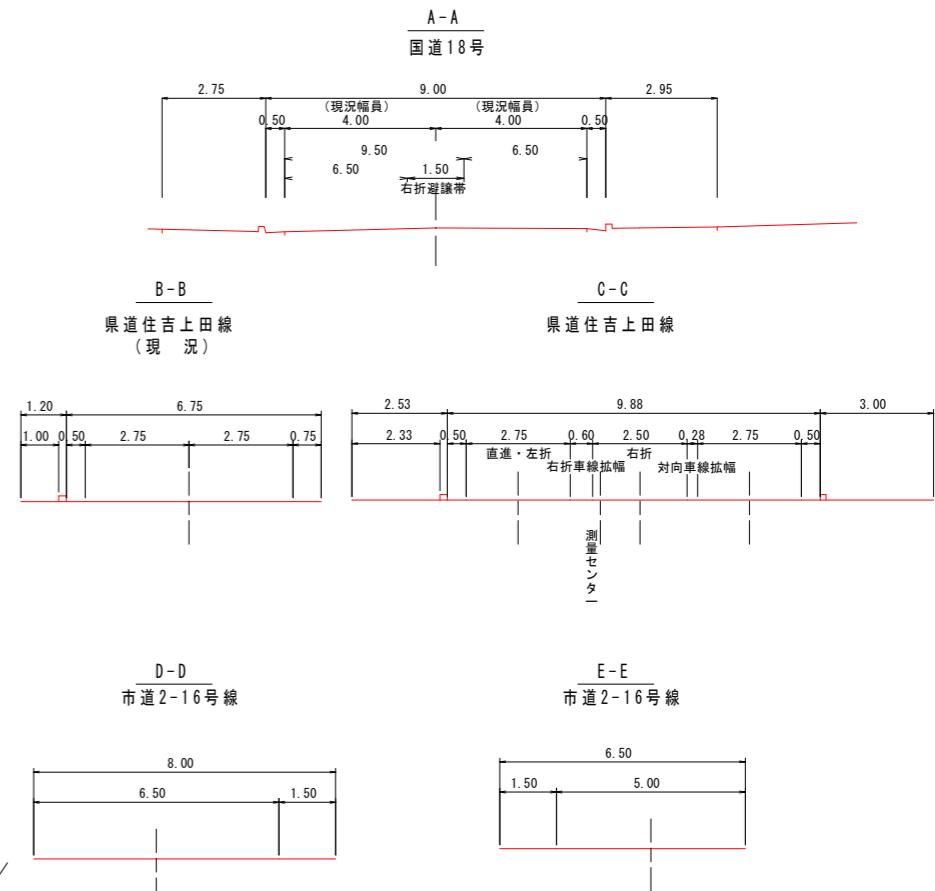
小型車: 2620台/24h
大型車: 41台/24h
合計: 2661台/24h

右折率: 40.5%(大型53.7%)
直進率: 41.3%(大型22.0%)
左折率: 18.2%(大型24.4%)

軌跡対象車両: 中型バス(上田バス)



横断図 S=1:100



国道18号本線シフト長
 $L = V \times \Delta W / 3 = 60 \times 0.75 / 3 = 15m$
(設計基準(1) P.2-2-51参照)

国道18号滞留長
 $Ld = \lambda \times r \times N \times S = 2.2 \times 1 \times 6 = 13.2m$
※乗用車一台分程度の滞留長を確保。

本線シフト長
 $L = V \times \Delta W / 3 = 20 \times 1.25 / 3 = 8.33 \approx 10m$
都市部の最低値のほうが大きいので、20mを採用。
(設計基準(1) P.2-2-51参照)

テーパー長
 $lc = V \times \Delta W / 6 = 20 \times 2.5 / 6 = 8.33 \approx 10m$
減速に必要な最小長のほうが大きいので、10mを採用。
(設計基準(1) P.2-2-53参照)

滞留長
 $Ld = \lambda \times r \times N \times S = 1.5 \times 1 \times 6 = 9m$
※乗用車一台分程度の滞留長を確保。

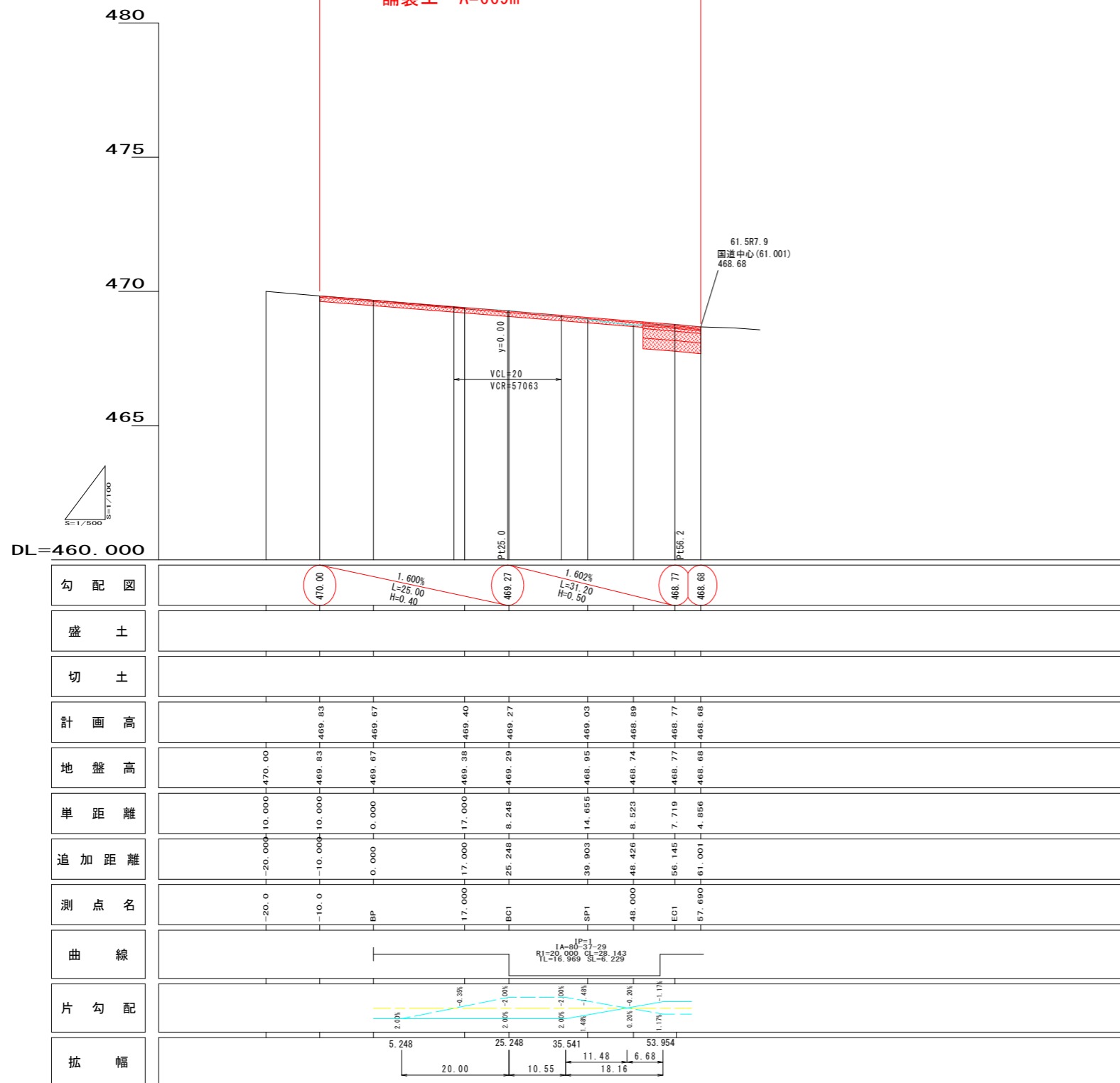
	国道18号	県道住吉上田線	市道2-16号線
道路交差点	県道: 89.6°、市道: 50.2°		
設計速度	60 km/h	単路部: 30 km/h、平面交差点部 20 km/h	
滞留長 (ls)	15.0 m	9.0 m	-
テーパー長 (ld)	-	10.0 m	-
本線シフト長	15.0 m	20.0 m	-

実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全(緊急対策事業)			
・平成31年度 県単交通安全対策(一環) 合部工事			
番号	2/11	交差点詳細図	縮尺 図示
(一) 住吉上田線			
上田中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社	管理技術者		
測量会社	照査技術者		
調査会社	主任技術者		

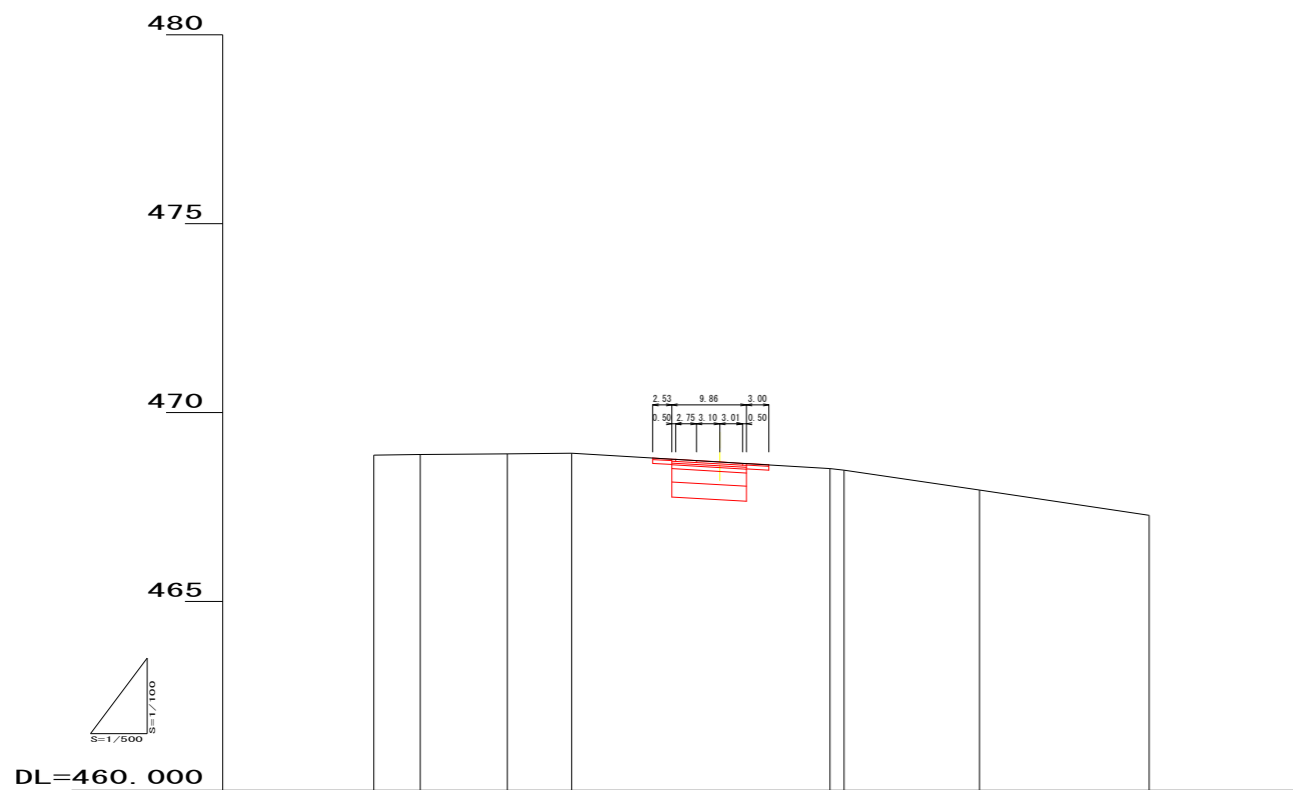
H30交差点改良工 L=57.7m

排水構造物設置工 L=76.1m
 歩車道境界ブロック工 L=126.3m
 舗装工 A=669m²

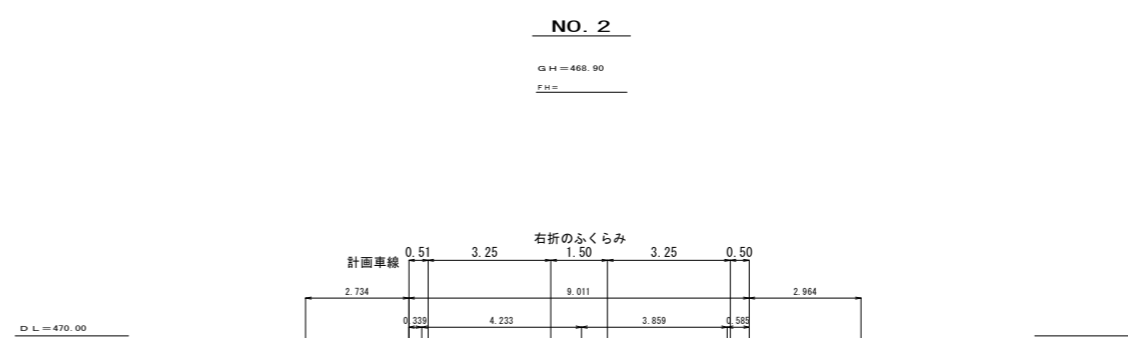
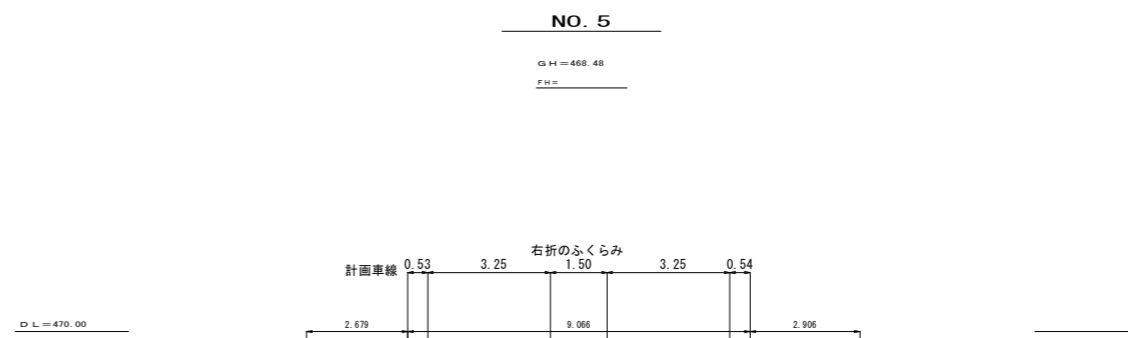


実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全（緊急対策事業）			
平成31年度 県単交通安全対策（一環）会費工事			
番号	3/11	縦断面	縮尺 図示
(一) 住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	



勾配図																
盛土																
切土																
計画高																
地盤高		468.87		468.88		468.90		468.91		468.51		468.47		467.95		467.27
単距離		0.000		6.183		11.513		8.521		34.209		1.877		17.927		22.448
追加距離		0.000		6.183		17.696		26.217		60.426		62.303		80.230		102.678
測点名		NO.0		NO.1		NO.2		NO.3		NO.4		NO.5		NO.6		NO.7
曲線	IP=1 LA=19-00-56 R1=200.000CL=60.377 TL=33.496SL=2.786															
片勾配																
拡幅																



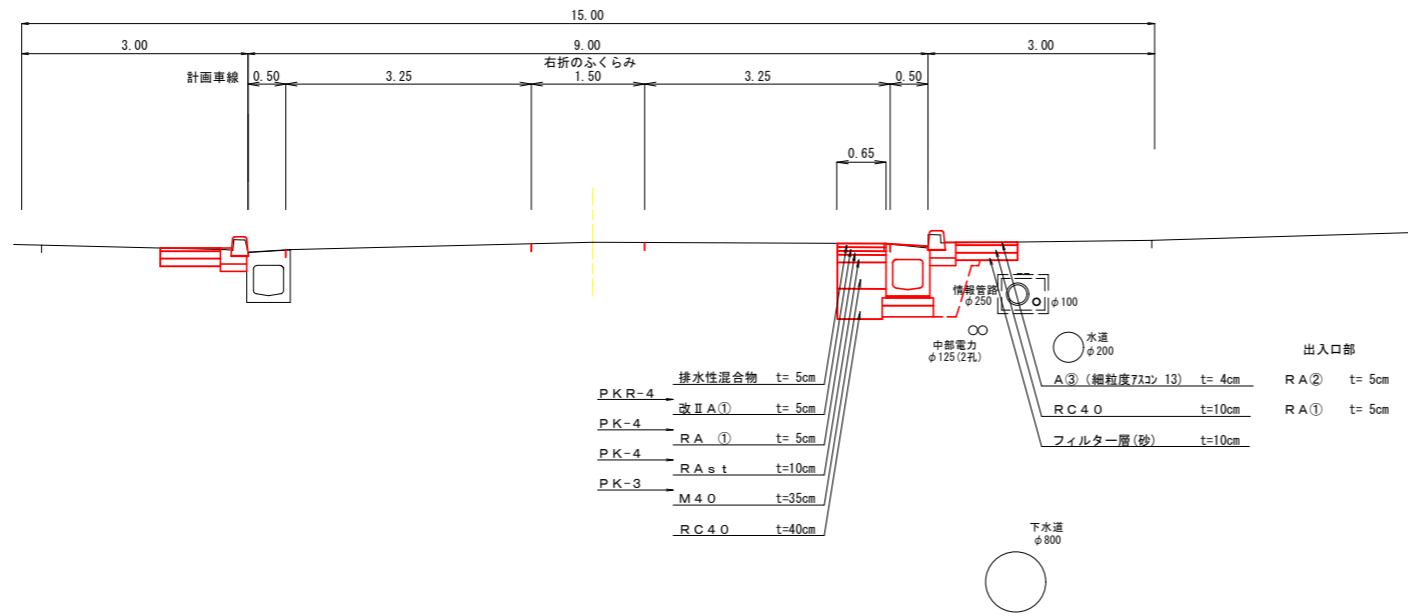
実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全（緊急対策事業）			
平成31年度 道路交通安全対策（一）整備工事			
番号	4/11	国道18号縦横断面図	縮尺 図示
(一) 住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

標準横断図 S=1:50

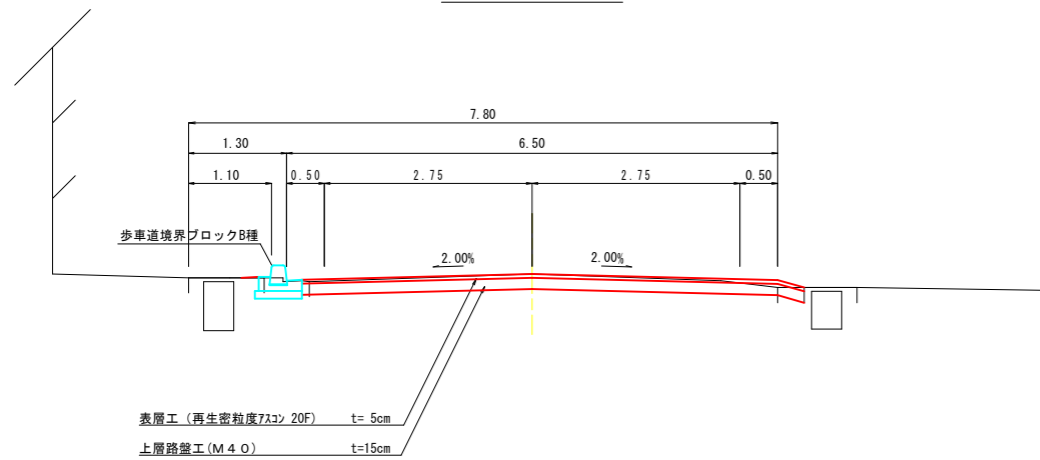
国道標準横断図

国道交差点部標準図

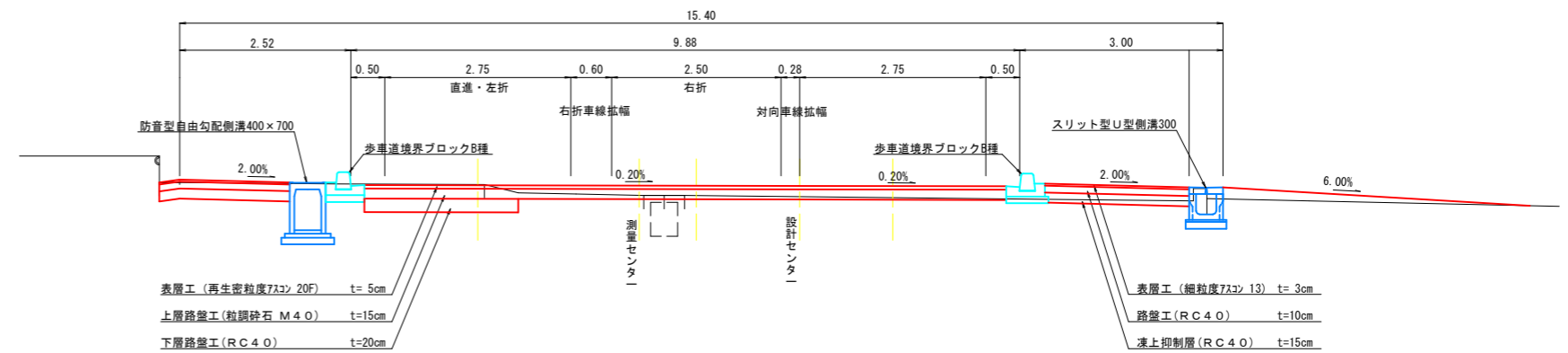


県道標準横断図

県道単路部標準図



県道交差点部標準図



国道18号線

設計諸元表		諸元表	
構造規格	3種2級	交通量	観測 H25年 20,892台/24h
幅員構成	3.00+0.50+3.25+1.50+3.25+0.50+3.00=18.00	計画	H42年 20,400台/24h
設計速度	60 km/h	工種	道路改良
最小半径	200 m	縦断勾配	1.17 %
勾配	横断 2 % 縦断 2 %	幅員	(9.0m) 15.0m
地質		況路面	アスファルト舗装
舗装厚決定根拠		舗装設計施工指針	
(1) 10年間に於ける平均の大型車1日1方向交通量	850 台/24h	(2) 交通区分	B交通
(3) 各測定のCBR値	No. No. No.	(4) 設計CBR値	3.0%
(4) 設計CBR値	3.0%	(5) 凍結深	cm
(6) 将来舗装計画	施行年度	年	
(7) 舗装厚(切土部)		(7) 舗装厚(盛土部)	
設計CBR値より	T A目標値	設計CBR値より	T A目標値
凍結深より	cm	凍結深より	cm
表層工	x =	表層工	x =
基層工	x =	基層工	x =
上層路盤工	x =	上層路盤工	x =
下層路盤工	x =	下層路盤工	x =
計	cm	計	cm
置換層	cm	遮断層	cm
合計	cm	合計	cm

一般県道住吉上田線

設計諸元表		諸元表	
構造規格	4種2級	交通量	観測 H25年 5,450台/24h
幅員構成	0.50+2.75+2.75+0.50+1.50+2.75=11.25	計画	H42年 5,400台/24h
設計速度	20 km/h	工種	道路改良
最小半径	16 m	縦断勾配	1.60 %
勾配	横断 2 % 縦断 1.60 %	幅員	(6.5m) 7.8 m
地質		況路面	アスファルト舗装
舗装厚決定根拠		舗装設計施工指針	
(1) 10年間に於ける平均の大型車1日1方向交通量	50 台/24h	(2) 交通区分	L交通
(3) 各測定のCBR値	No. No. No.	(4) 設計CBR値	3.0%
(4) 設計CBR値	3.0%	(5) 凍結深	30 cm
(6) 将来舗装計画	施行年度	年	
(7) 舗装厚(切土部)		(7) 舗装厚(盛土部)	
設計CBR値より	T A目標値	設計CBR値より	T A目標値
凍結深より	15 cm	凍結深より	cm
表層工	5 x 1.00 = 5.00	表層工	x =
基層工	x =	基層工	x =
上層路盤工	15 x 0.35 = 5.25	上層路盤工	x =
下層路盤工	x =	下層路盤工	x =
計	40 cm	計	cm
置換層	cm	遮断層	cm
合計	40 cm	合計	cm

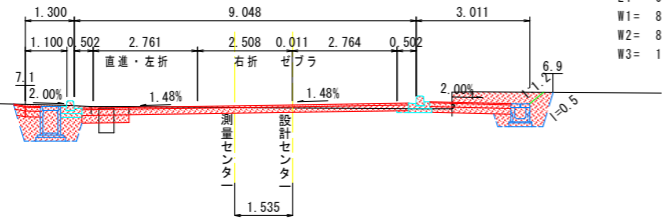
実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全(緊急対策事業)			
平成31年度 県単交通安全対策(一) 企画工事			
番号	5/11	標準横断図	縮尺 S=1:50
(一) 住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

SP1 (39.319) (P139.992)

GH=468.96 468.95
FH= 469.03

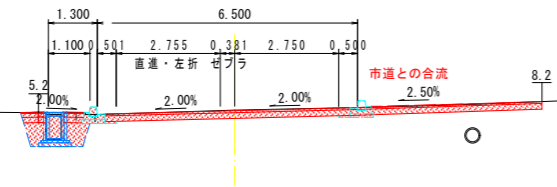
C = 5.2
C1 = 1.1
B = -
B1 = 1.2
L = 2.0
L1 = 0.5
W1 = 8.64
W2 = 8.3
W3 = 1.6



BC1 (25.248) 設計センター (P125.248)

GH=469.29
FH= 469.27

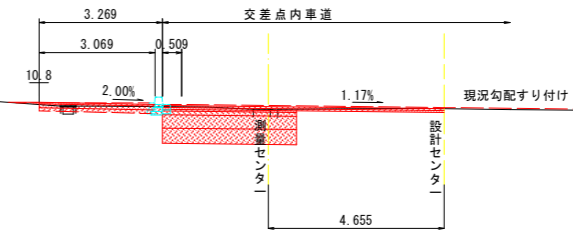
C = 2.0
C1 = 1.0
B = -
B1 = 0.8
L = -
L1 = 1.2 (1.6)
W1 = 6.49
W2 = 6.3
W3 = -



EC1 (53.391) (P156.145)

GH=468.75 468.77
FH= 468.77

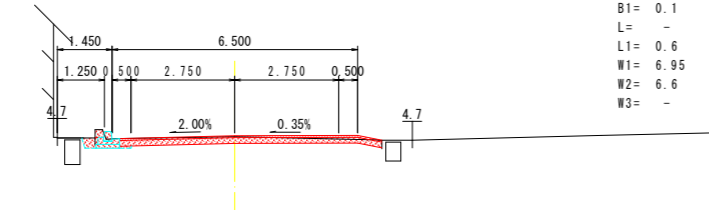
C = -
C1 = -
B = -
B1 = -
L = -
L1 = -
W1 = -
W2 = -
W3 = -



17.000

GH=469.38
FH= 469.40

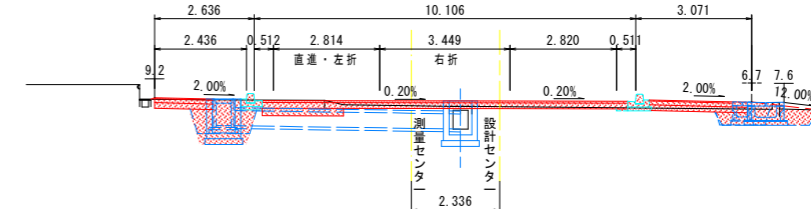
C = 1.4
C1 = -
B = -
B1 = 0.1
L = -
L1 = 0.6
W1 = 6.95
W2 = 6.6
W3 = -



48.000 (P149.425)

GH=468.72 468.74
FH= 468.89

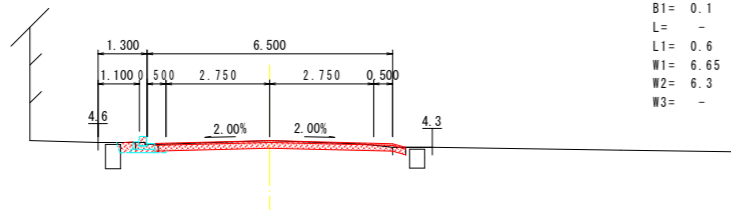
C = 2.7
C1 = 1.1
B = -
B1 = 0.9
L = -
L1 = 2.1
W1 = 9.68
W2 = 9.4
W3 = 1.7



BP (0.000)

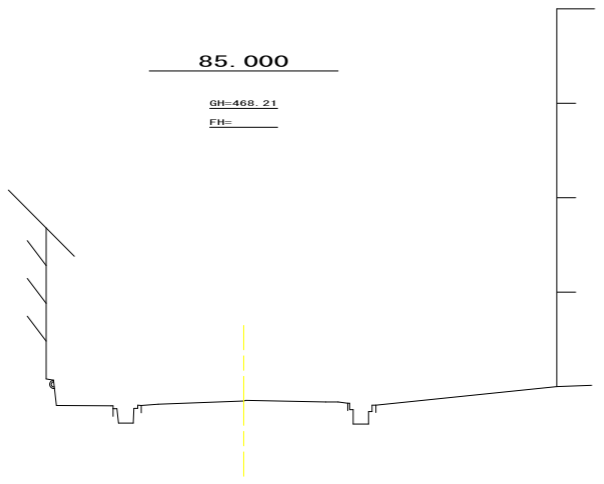
GH=469.67
FH= 469.67

C = 1.5 (掘削)
C1 = - (床掘)
B = - (盛立)
B1 = 0.1 (埋戻)
L = - (切土法面整形)
L1 = 0.6 (基面整形)
W1 = 6.65 (舗装幅)
W2 = 6.3 (車道不陸整正)
W3 = - (歩道不陸整正)

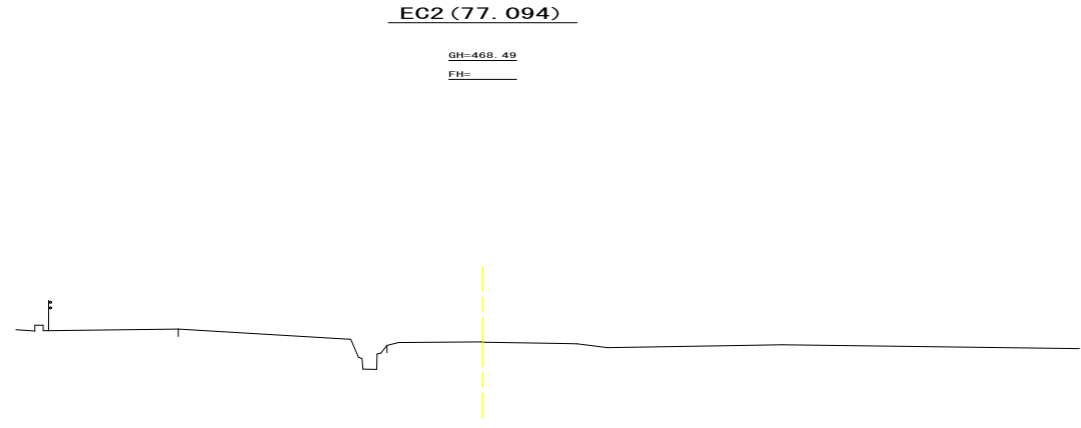


実施図

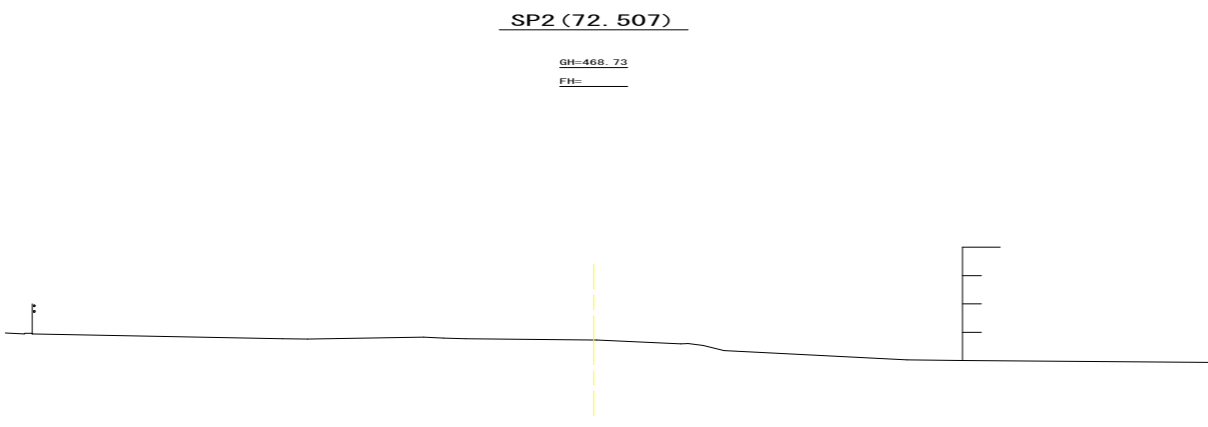
平成30年度 防災・安全交付金 交通安全 (緊急対策事業)			
平成31年度 県単交通安全対策 (一) 合同工事			
番号	6/11	横断面 (1)	縮尺 S=1:100
(一) 住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	



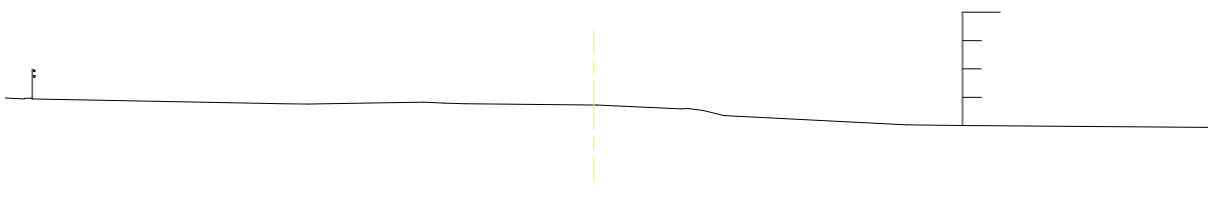
85.000
 GH=468.21
 FH=



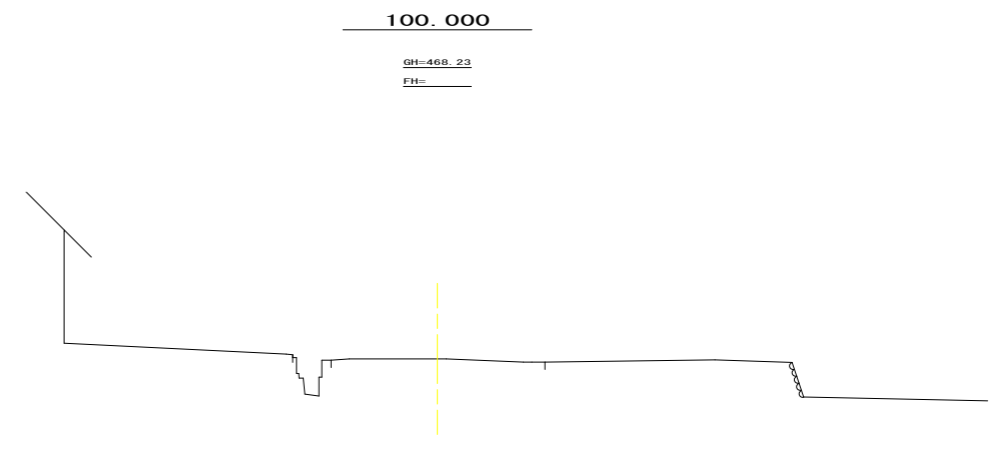
EC2 (77.094)
 GH=468.49
 FH=



SP2 (72.507)
 GH=468.73
 FH=



BC2 (67.919)
 GH=468.80
 FH=



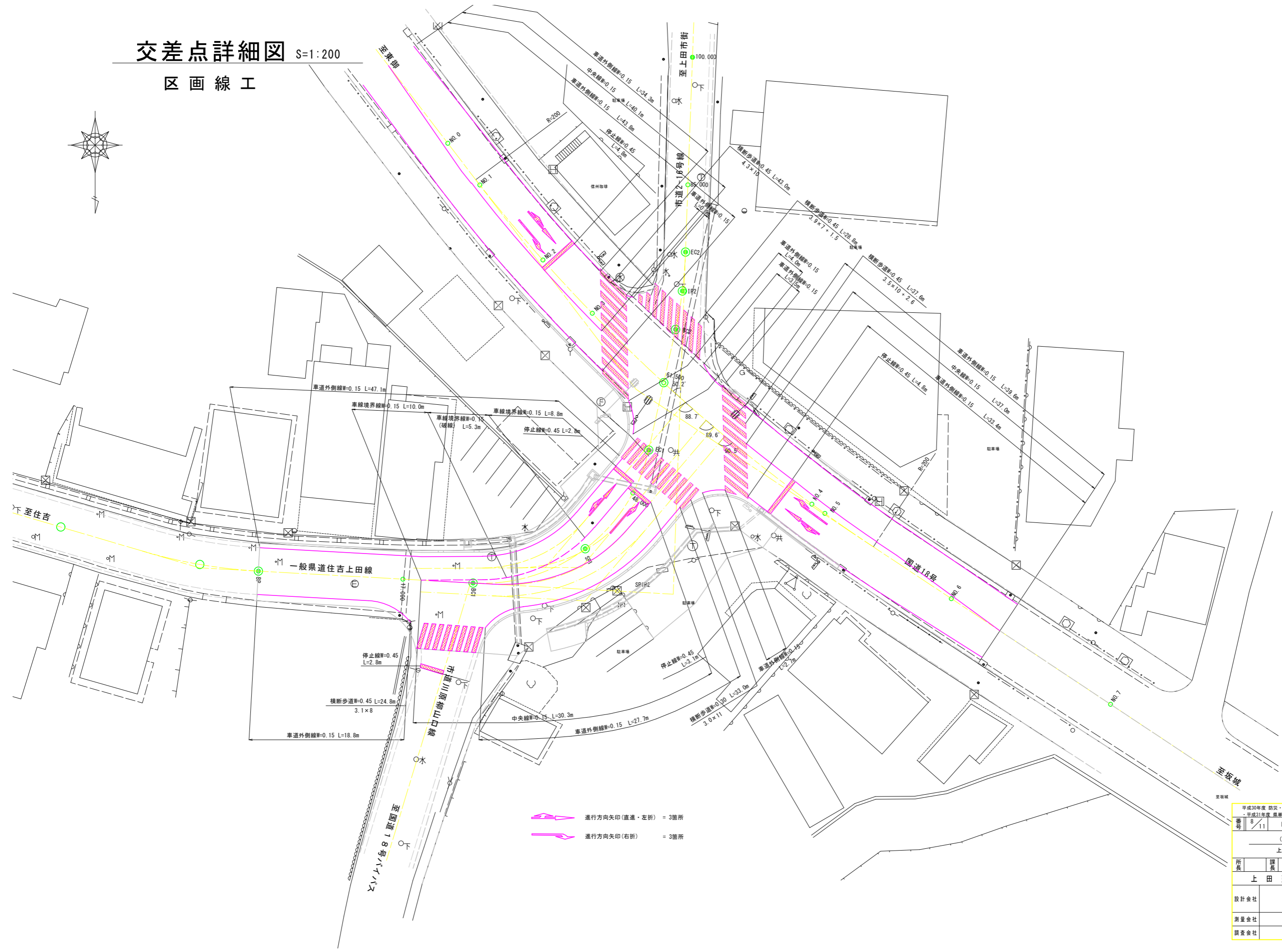
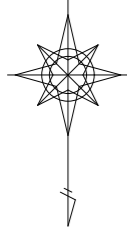
100.000
 GH=468.23
 FH=

実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全（緊急対策事業）			
平成31年度 県単交通安全対策（一）合同工事			
番号	7/11	横断面(2)	縮尺 S=1:100
(一) 住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

交差点詳細図 S=1:200

区画線工



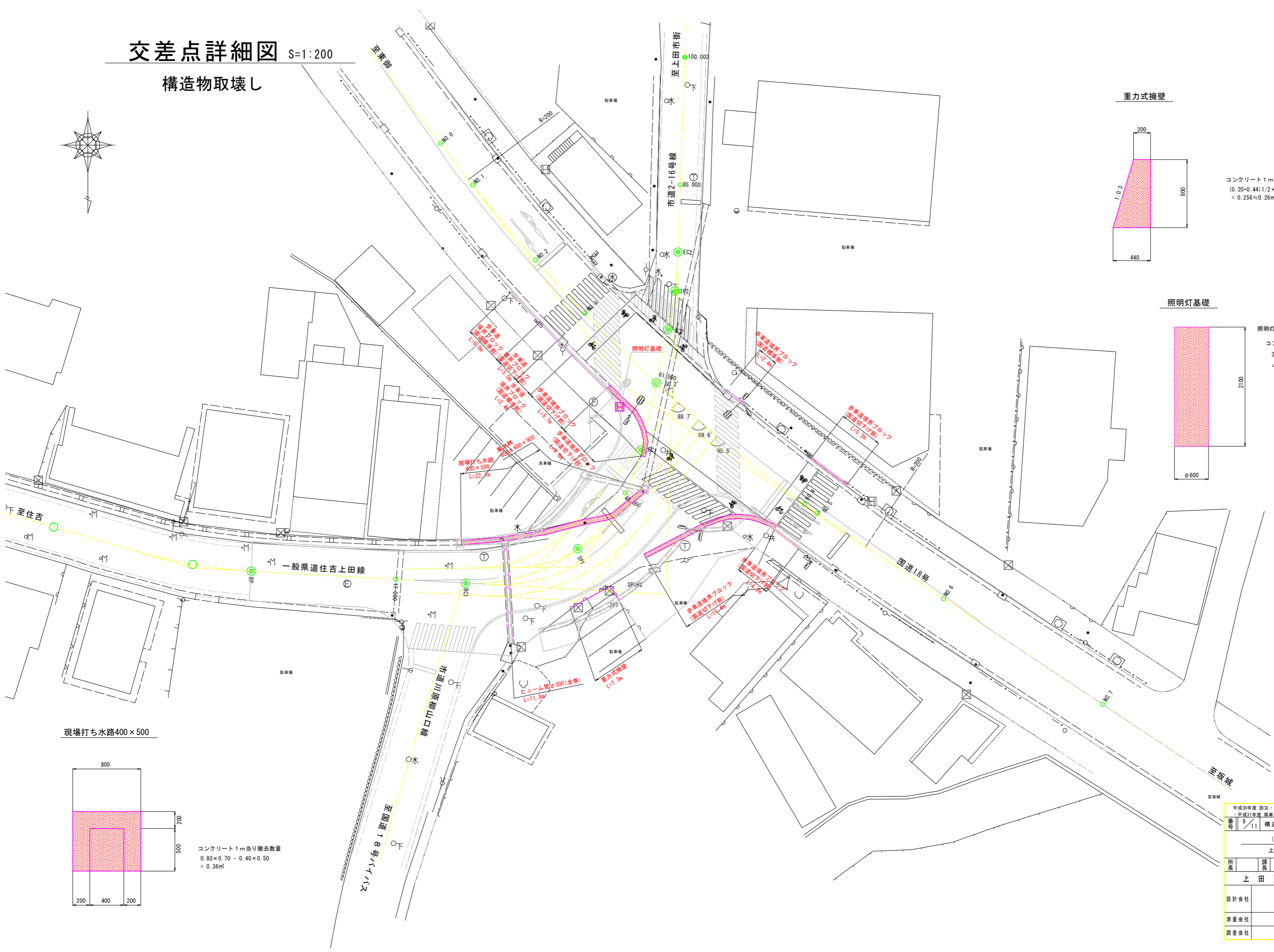
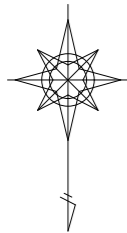
- 進行方向矢印(直進・左折) = 3箇所
- 進行方向矢印(右折) = 3箇所

実施図

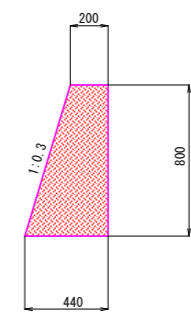
平成30年度 防災・安全交付金 交通安全(緊急対策事業)			
平成31年度 県道交通安全対策(一) 改善工事			
番号	8/11	区画線工図	縮尺 図示
(一) 住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	

交差点詳細図 S=1:200

構造物取壊し

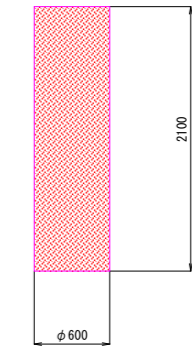


重力式擁壁



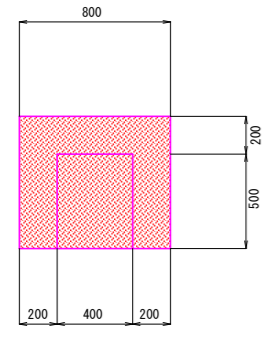
コンクリート 1m 当り撤去数量
 $(0.20+0.44) \times 1/2 \times 0.80$
 $= 0.256 \approx 0.26 \text{ m}^3$

照明灯基礎



照明灯 1 基当り撤去数量
 コンクリート(無筋)
 $3.14 \times 0.60 \times 0.60 / 4 \times 2.1$
 $= 9.5 \text{ m}^3$

現場打ち水路 400 × 500



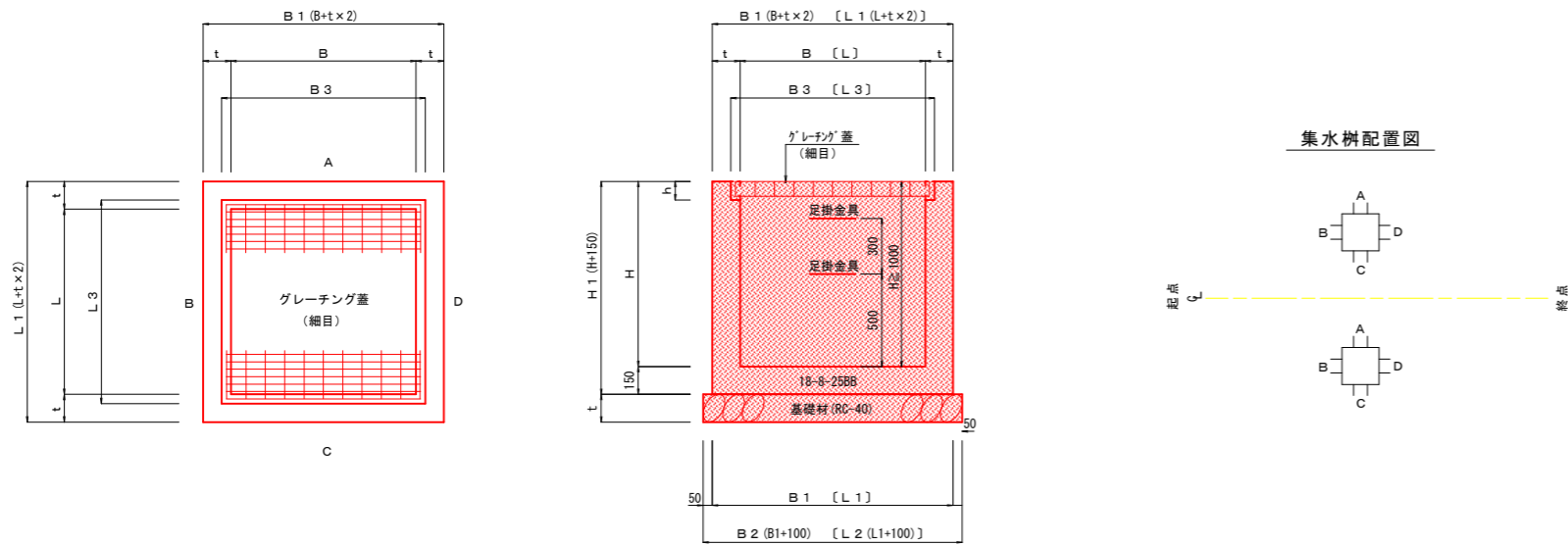
コンクリート 1m 当り撤去数量
 $0.80 \times 0.70 - 0.40 \times 0.50$
 $= 0.36 \text{ m}^3$

実施図

平成30年度 防災・安全交付金 交通安全 (緊急対策事業)			
平成31年度 県道交通安全対策 (一) 危険箇所工事			
番号	9/11	構造物取壊し図	縮尺 図示
(一) 住吉上田線			
上田中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
測量会社		照査技術者	
調査会社		主任技術者	
		主任技術者	

集水樹構造図

S=1:20



H ≤ 2000

名称	算出式
コンクリート	$V = B1 \times L1 \times H1 - B \times L \times (H - h) - B3 \times L3 \times h - \text{控除分}$
型枠	$A = (B1 + L1) \times H1 \times 2 + (B + L) \times (H1 - h) \times 2 - \text{控除分}$
基礎材	$A = B2 \times L2$

受け枠控除表

活荷重 グレーチング B x L	T-25		T-14	
	B3 [L3]	h	B3 [L3]	h
500 x 500	630	71	630	56
600 x 600	735	81	735	61
700 x 700	840	81	840	66
800 x 800	920	96	920	71
900 x 900	1020	96	1020	71
1000 x 1000	1120	106	1120	81

控除表

規格	コンクリート		型枠	控除番号	
	t=150	t=200			
ボックス カルバート	300 x 300	0.03	0.04	0.39	BX30
	400 x 400	0.05	0.06	0.63	BX40
防音型 自由勾配側溝	400 x 700	0.07	0.09	0.91	BVS47
既設水路	400 x 650	0.04	0.05	0.52	既465

記号	B	L	B1	L1	H	B2	L2	B3	L3	h	t	側溝・3&n°→控除位置				コンクリート (m3)	型枠 (m2)	基礎		基面整形 (m2)	グレーチング	足掛金具 (個)
												A	B	C	D			厚 t (mm)	(m2)			
(1)	600	600	900	900	900	1000	1000	735	735	81	150	-	既465	-	BVS47	0.40	4.7	150	1.0	1.0	T-25 600 x 600 1枚	
(2)	600	600	900	900	900	1000	1000	735	735	61	150	-	BVS47	BX30	BVS47	0.35	3.9	150	1.0	1.0	T-14 600 x 600 1枚	
(3)	700	700	1000	1000	900	1100	1100	840	840	66	150	-	BVS47	BX40	BVS312	0.39	4.2	150	1.2	1.2	T-25 700 x 700 1枚	
(4)	600	600	900	900	900	1000	1000	735	735	81	150	BX40	-	-	BX40	0.41	4.8	150	1.0	1.0	T-25 600 x 600 1枚	

実施図

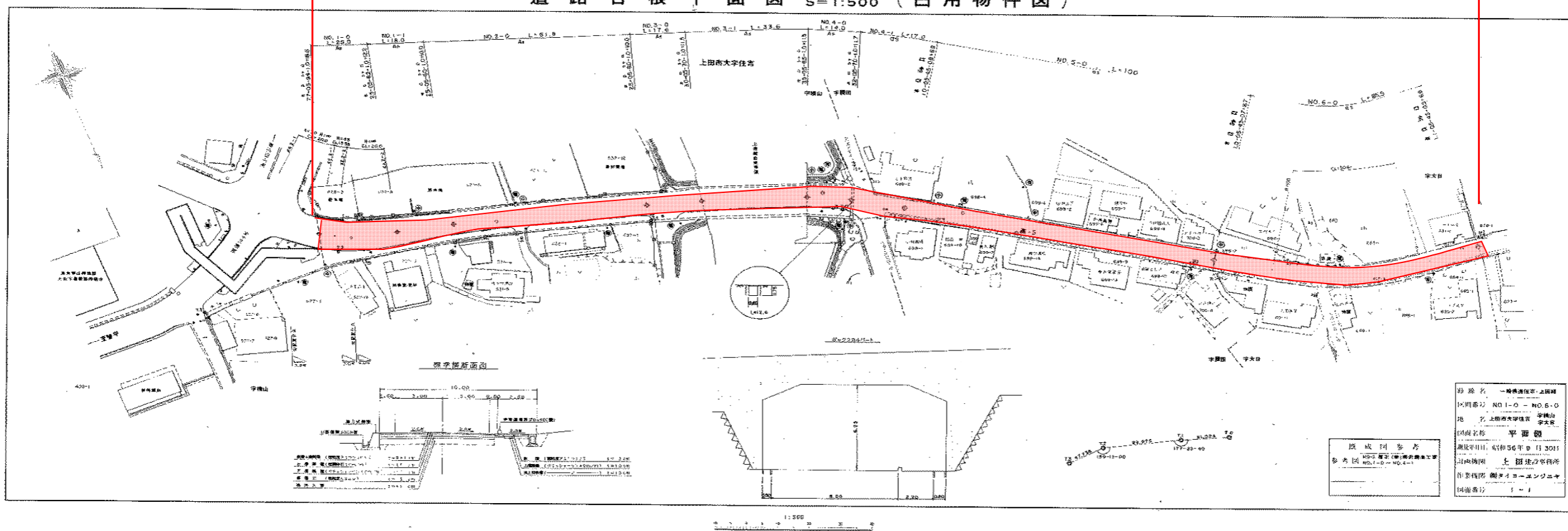
平成30年度 防災・安全交付金 交通安全（緊急対策事業）			
平成31年度 県単交通安全対策（一挿）合同工事			
番号	10/11	構造図(1)	縮尺 図示
（一）住吉上田線			
上田市中央5丁目			
所長	課長	照査	設計
上田建設事務所			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

集水樹

(一)住吉上田線 上田市 中央5丁目(住吉工区)

オーバーレイ工 L=373m W=7.0m A=2,500m²

道路台帳平面図 S=1:500 (占用物件図)



実施図

- (参考)
- ・現地立会により路面破損状況を確認し、協議により起終点を決定します。
 - ・施工困難箇所は施工対象外とすることがありますので協議願います。

平成30年度防災・安全交付金(交通安全)(緊急対策事業)・平成31年度県単交通安全対策(一種)合冊工事		
番号	11 / 11	舗装展開図
(一)住吉上田線		
上田市 中央5丁目		
上田建設事務所		